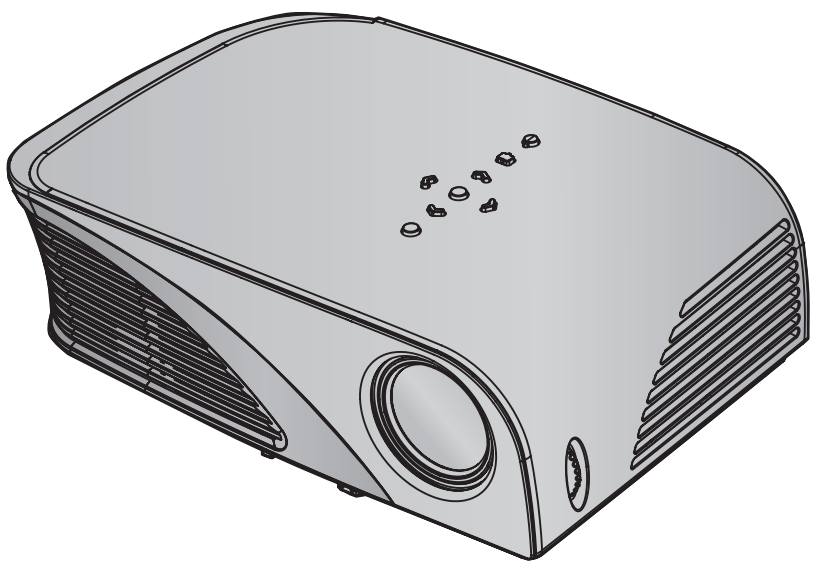
TAXAN

TAXAN LED PROJECTOR

KG-PL011S

取扱説明書

製品をご使用になる前に、本マニュアルをよくお読みください。
本マニュアルは、後で参照できるように保管してください。
製品のモデル番号とシリアル番号を記録してください。



LED PROJECTOR

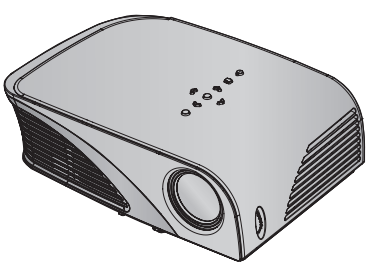
このたびは、TAXAN　LEDプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。
この製品を正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
お読みになった後は、「保証書」とともに、いつでも見ることができるように大切に保管してください。
万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときには、この「取扱説明書」をお読みください。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると受信妨害を引き起こすことが あります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- DLP®(Digital Light Processing)は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
- XGA は米国IBM Corp. の登録商標です。
- S-VGA はVideo Electronics Standards Association の登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh は米国Apple Inc. の商標です。
- Adobe Acrobat Reader はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

（1）本書の内容の一部または全部を無断転記することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本製品の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。



目 次

安全にお使いいただくために 4

各部の名称

本体 7
コントロールパネル 7
接続部 8
リモコン 9
電池を挿入する方法 9
付属品 10

設置と構成

設置に関する注意事項 11
プロジェクタの基本操作 12
三脚を使用してプロジェクタを設置する方法 13
ケンジントンセキュリティシステムを使用する 13
プロジェクタの電源をオンにする 14
プロジェクタの電源をオフにする 14
スクリーン画像のフォーカスと位置を調整する 14
入力を選択する 14

接続

PC に接続する 15
ビデオソースに接続する 15
DVD 機器に接続する 16

機能

映像メニュー

投映モード 17
投映モードの調整 17
投映モードリセット機能 18
アドバンストコントロール機能 18

画面メニュー

投写位置の変更します 20
アスペクト比機能を使用します 20
台形補正 20
自動設定機能 21
RGB入力設定 21
画像の一時停止 21

オーディオメニュー

FM ワイヤレスオーディオとは? 22
設置ガイド 23
FM 受信信号が悪い場合の対処方法 23
FM レシーバのスピーカから聞くには 24
音量を調整する 24
スピーカーのバランスを調整する 25
高音域を調整する 25

タイマー設定メニュー

オフタイマー機能 26
オートパワーオフ機能 26

オプションメニュー

言語を選択する 26
AVミュート 27
AVミュートイメージを選択する 27
スクリーンキャプチャ機能 27
エコモードの調整方法 28
電源入力時に、プロジェクタの電源を
自動的に入れる方法 28
キーパッドの設定方法 28

情報メニュー

プロジェクタの情報を確認する方法 29

USB

USB 装置の使用

USB 装置を接続する 30
USB を取り外す 30
USB デバイスの使用上の注意 30

写真のリスト

画面構成 31
写真選択およびポップアップメニュー 31
フルスクリーンメニュー 32

音楽のリスト

画面構成 33
曲の選択およびポップアップメニュー 34

動画のリスト

対応する動画ファイル 35
DivX の再生についての注意 35
画面構成 36
動画の選択およびポップアップメニュー 36
動画を再生する 37
オプションメニューの選択 37
DivX 登録コードをご覧になるには 38
ディアクティベーション機能 38

情報

サポートされるモニタ表示 39
メンテナンス 40
レンズキャップをプロジェクタに取り付ける方法 40
メモ 41
仕様 43

安全にお使いいただくために

起こりうる事故、またはプロジェクタの誤使用を防ぐため、安全上の注意事項をよくお読みください。

➡ 安全上の注意事項は、次のような2 つの形式で記載されています。

⚠ **警告**：この指示を守らないと、重傷を受けたり場合によっては死亡事故につながる恐れがあります。
⚠ **注意**：この指示を守らないと、軽傷を受けたりプロジェクタの破損につながる恐れがあります。

➡ 本マニュアルを読んだ後には、いつでもすぐに参照できる場所に保管してください。

室内での設置　⚠ 警告

プロジェクタは、直射日光が当たる場所や熱を発するもの(ラジエータ、火元、ストーブなど) の近くに置かないでください。

火災につながる恐れがあります。

プロジェクタのそばに引火性物質を置かないでください。

火災につながる恐れがあります。

設置したプロジェクタにぶら下がって、子供が遊ばないように注意してください。

プロジェクタが落下して、けがや死亡事故につながる恐れがあります。

室内での設置　⚠ 注意

移動する前には、電源接続とすべての接続部を取り外してください。

蒸気やオイルを噴出するもの(加湿器など) の近くに置かないでください。

火災や感電につながる恐れがあります。

ほこりがかかる場所に置かないでください。

火災や装置の破損につながる恐れがあります。

テーブルの上に設置する場合は、テーブルの端に置かないように注意してください。

落下して、周囲の人重傷やプロジェクタの重大な破損につながる恐れがあります。適切なスタンドのみを使用してください。

水平で安定した場所でのみ使用してください。

落下して、けがや装置の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタの周囲では、十分な換気を確保してください。プロジェクタと壁の間には、必ず 20 cm (8 インチ) 以上の距離をとってください。

内部温度が過度に上昇すると、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

通風孔を塞いだり、空気の流れを妨げないでください。

内部温度が上昇し、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

カーペットやラグの上に直接置いたり、換気が悪い場所に置かないでください。

内部温度が上昇し、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

水に濡れる可能性がある湿気の多い場所(浴室など) では使用しないでください。

火災や感電につながる恐れがあります。

電源　⚠ 警告

アース線を必ず接続してください。

- アース端子の接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース端子の接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- アース線が接続されていないと、漏電による感電につながる恐れがあります。
- 接地ができない場合は、有資格の電気技術者が個別の回路遮断器を設置する必要があります。
- 電話線、避雷針、またはガス管には接地しないでください。

電源プラグは電源コンセントに完全に差し込んでください。

火災や装置の破損につながる恐れがあります。

電源コードの上に重いものを置かないでください。

火災や感電につながる恐れがあります。

電源コンセントには、同時に多くのプラグを使用しないでください。

電源コンセントが過熱して、火災につながる恐れがあります。

電源　⚠ 注意

濡れた手で電源プラグに触れないでください。 感電につながる恐れがあります。	プラグを抜くときには、プラグをしっかりと持ってください。コードを引っ張ると、コードが破損する恐れがあります。 火災につながる恐れがあります。	電源プラグの端子、または電源コンセントにほこりがたまらないようにしてください。 火災につながる恐れがあります。

電源コードまたは電源プラグが破損していたり、電源コンセントが緩んでいるときには、電源プラグを差し込まないでください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	電源コードは、先が尖ったものや高温のもの(ヒーターなど) に触れないように注意してください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	アダプタ、電源コードは本製品以外の製品には使用出来ません。

プロジェクタは、人が電源コードでつまづいたり、人が電源コードを踏んだりしない場所に置いてください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	壁面コンセントの電源プラグを抜き差しして、プロジェクタのオン/オフを切り替えないでください。(電源プラグをスイッチ代わりに使用しないでください。) ※ダイレクトパワーオン機能有効時を除く 機械的な故障や感電につながる恐れがあります。

使用時　⚠ 警告

液体が入ったもの(花瓶、コーヒーカップ、化粧品、ろうそくなど) をプロジェクタの上に置かないでください。 火災や装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタが強い衝撃または破損を受けた場合は、プロジェクタの電源を切り、電源コンセントからプラグを抜いてサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタにものを落とさないでください。 感電や装置の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタに水がかかった場合は、ただちに電源コンセントからプロジェクタのプラグを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。 感電や装置の破損につながる恐れがあります。	使用済み電池は、安全な方法で適切に廃棄してください。 子供が電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。	画像がスクリーンに表示されない場合は、プロジェクタの電源を切り、電源からプラグを抜いてサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。

カバー類を取り外さないでください(レンズカバーを除く)。感電する恐れがあります。	プロジェクタの使用中は、レンズを直視しないでください。目を損傷する恐れがあります。	通気孔は非常に熱くなっているので、使用中/使用直後には金属部分に触れないでください。

電源コードに関するご注意

ほとんどの機器では、専用の電気系統(1 つの機器のみの電源を供給し、追加コンセントや電源の分岐がない単一の電気系統) を使用することが推奨されています。

壁面コンセントに負荷をかけ過ぎないでください。過負荷になった壁面コンセント、緩んだ/破損したコンセントや延長コード、摩耗した電源コード、亀裂が入った絶縁コードを使用するのは危険です。このような状態は、感電や火災につながる恐れがあります。機器のコードを定期的に点検し、外観上の破損または劣化が見られる場合は、そのコードを抜いて、機器の使用を停止し、同一交換部品との交換を正規のサービス担当者に依頼してください。電源コードが、物理的または機械的な誤用(ねじれ、よじれ、締め付け、ドアの挟み込み、足での踏みつけなど) を受けないよう注意してください。プラグ、壁面コンセント、および機器からコードが出ている部分には、特に注意を払ってください。

使用時 ⚠ 警告

ガス漏れが発生した場合は、壁面コンセントに触れないようにし、窓を開けて換気を行ってください。 火災や火花によるやけどにつながる恐れがあります。	プロジェクタを落としたり、強い衝撃を与えないでください。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。	レンズの中を直接見ないでください。目を損傷する恐れがあります。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。

プロジェクタランプの点灯中は、レンズキャップを取り外してください。

使用時 ⚠ 注意

プロジェクタの上に重いものを置かないでください。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。	レンズに衝撃を与えないように注意してください(特にプロジェクタの移動時)。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。
プロジェクタのレンズに触れないでください。レンズは傷つきやすく、破損しやすくなっています。	外装が破損するので、プロジェクタの上で先が鋭い道具を使用しないでください。

クリーニング ⚠ 警告

クリーニングには、水を使用しないでください。 火災や感電につながる恐れがあります。	プロジェクタから煙が出たり、異臭がする場合は、プロジェクタの電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いて、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	投映レンズのほこりや汚れを取り除く場合は、エアスプレーを使用するか、中性洗剤と水をしみ込ませた柔らかい布を使用してください。

クリーニング ⚠ 注意

年に1 度は、サービスセンターにプロジェクタの内部部品のクリーニングを依頼してください。 ほこりがたまると、機械的な故障につながる恐れがあります。	プロジェクタケースなどのプラスチック部品をクリーニングするときには、電源プラグを抜いて、柔らかい布で拭いてください。洗剤を使ったり、スプレーで水をかけたり、濡れた布で拭いたりしないでください。特に、洗剤(ガラス用洗剤)、自動車用/工業用の光沢剤、研磨剤、ワックス、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。これらを使用すると、製品を破損する恐れがあります。投映レンズのほこりや汚れを取り除く場合は、エアスプレーを使用するか、中性洗剤と水をしみ込ませた柔らかい布を使用してください。 火災、感電、または製品の破損(変形、腐食、損傷) につながる恐れがあります。

その他 ⚠ 警告

プロジェクタの修理を自分でしないでください。販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

プロジェクタの破損や感電につながる恐れがあり、保証が無効になる場合もあります。

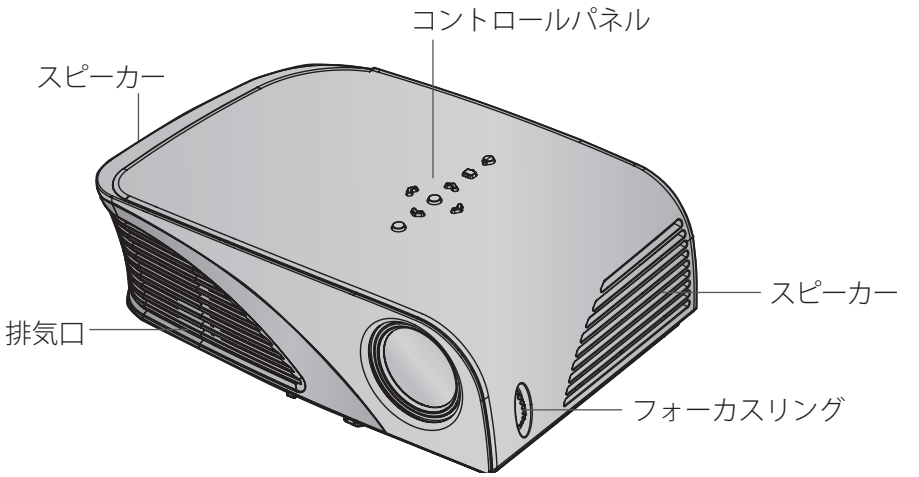
その他 ⚠ 注意

プロジェクタを長い間使用しない場合は、電源プラグを必ず抜いてください。 ほこりがたまると、火災や装置の破損につながる恐れがあります。	新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。 電池の過熱や液漏れにつながる恐れがあります。	指定されたタイプの電池のみを使用してください。 指定以外の電池を使用すると、リモコンの破損につながる恐れがあります。

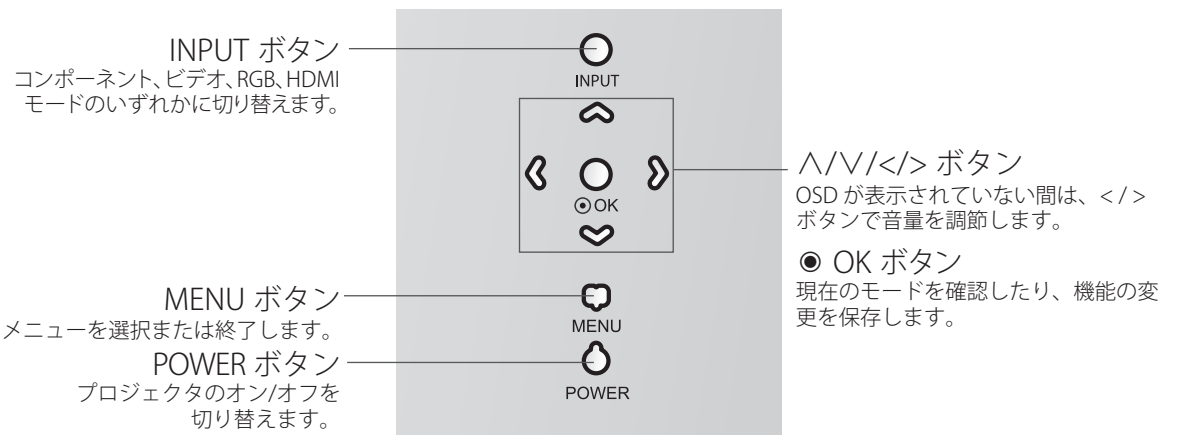
各部の名称

本体

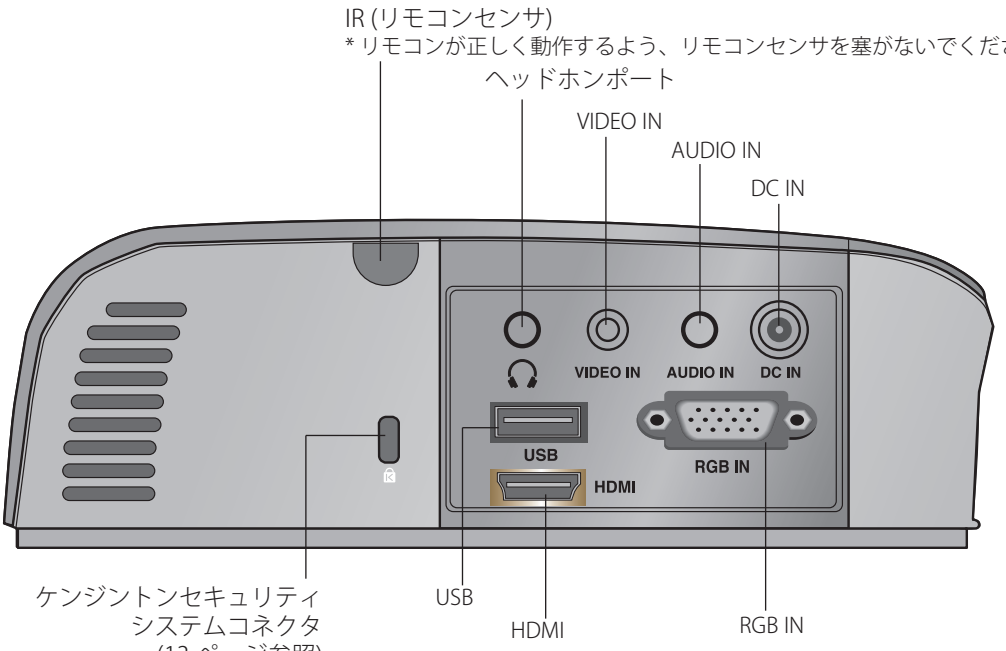
* プロジェクタは高精度な技術を使用して製造されています。しかし、非常に小さい黒い点や明るい点(赤、青、または緑) がプロジェクタスクリーン上に表示される場合があります。これは、製造プロセスによる正常な結果であり、必ずしも動作不良を示すものではありません。



コントロールパネル

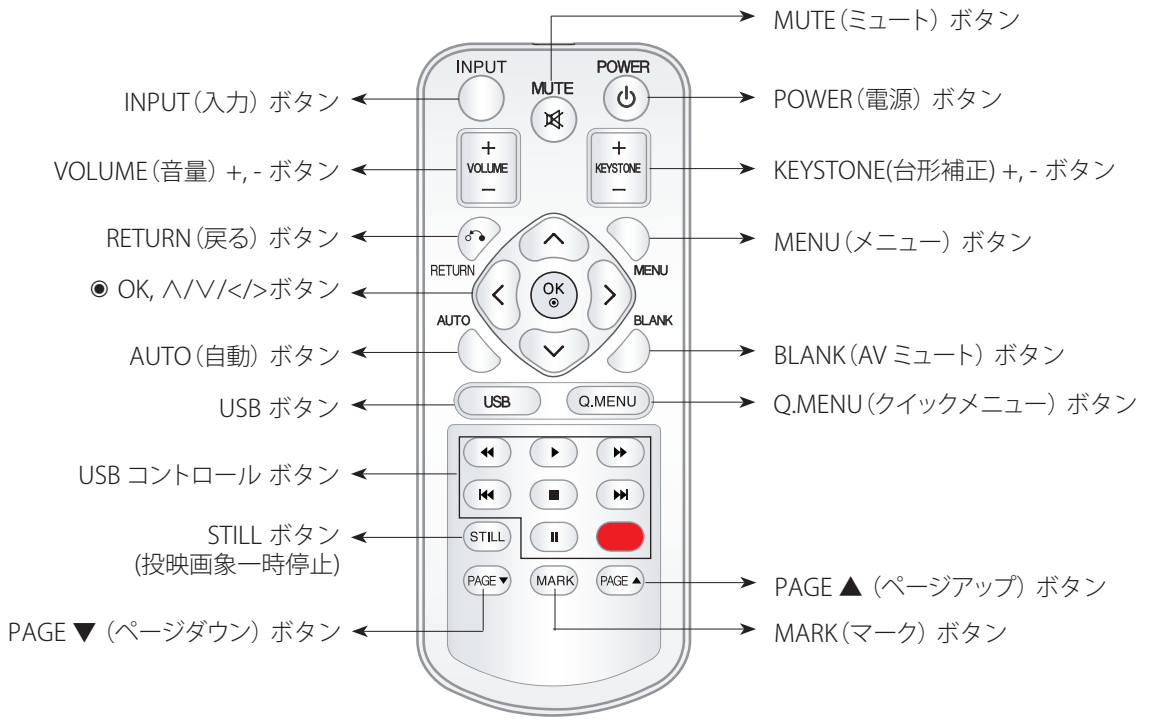


接続部



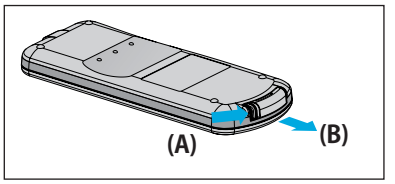
*HDMI端子とUSB端子を同時に使用する場合、接続するジャックのサイズが大きすぎると、同時に接続できない可能性があります。

リモコン

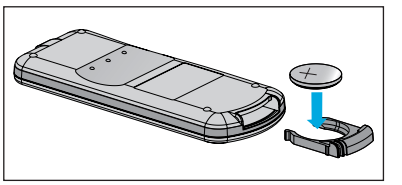


電池を挿入する方法

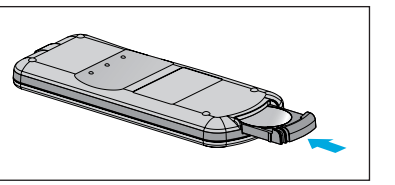
* 正しくないタイプの電池を使用すると、爆発の危険性があります。
使用済み電池は、定められた方法に従って廃棄してください。



1. 矢印(A) の方向にスライドさせて電池カバーを取り外し、矢印(B) の方向に電池カバーを引き出します。



2. プラス側を上に向けて電池を挿入します。



3. カバーを元に戻します。

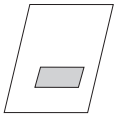
お知らせ

- 3V のリチウム電池(CR2032) のみを使用してください。
- 使用済み電池は、地域の法令に従って廃棄してください。
- 長期間にわたってプロジェクタを使用しない場合は、電池を取り外してください。

付属品

リモコン

3V 電池


取扱説明書

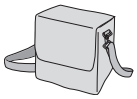
クリーナ

電源コード

コンピュータ
ケーブル

アダプタ

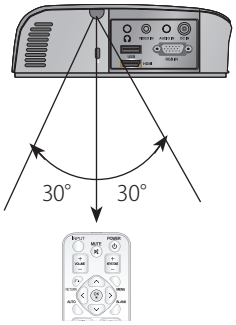
RGB/コンポーネントケーブル


キャリングケース

レンズキャップと
ストラップ

お知らせ

- リモコンは、受信部から見て距離1.8m、角度30°(左/右) までの範囲で使用可能です。
- ケーブルが背面の出力端子に接続されている場合、リモコンは、距離3m、角度30°(左/右) 以内で使用することをお勧めします。



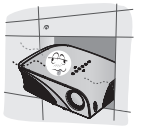
設置と構成

設置に関する注意事項

プロジェクタは、次の注意事項に従って設置してください。これを怠ると、動作不良や製品の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタの適切な換気を確保してください。

- プロジェクタの底部には吸気用の通気孔、前面には排気用の通気孔が装備されています。これらの通気孔を塞いだり、近くにものを置いたりしないでください。内部温度が上昇し、画像の劣化やプロジェクタの破損につながる恐れがあります。



- プロジェクタを押して動かしたり、プロジェクタに液体をかけないでください。

- プロジェクタは、カーペットやラグのような表面の上に置かないでください。プロジェクタ底部の十分な換気が妨げられる場合があります。本製品は、壁または天井のみに取り付けてください。

- プロジェクタの周囲には、十分な距離(30 cm/ 12 インチ以上)をとってください。

適した温度/湿度条件の場所に置いてください。

- 適した温度と湿度を満たす場所のみに設置してください(41 ページ参照)

ほこりがかかる場所に置かないでください。

- 過熱につながる恐れがあります。

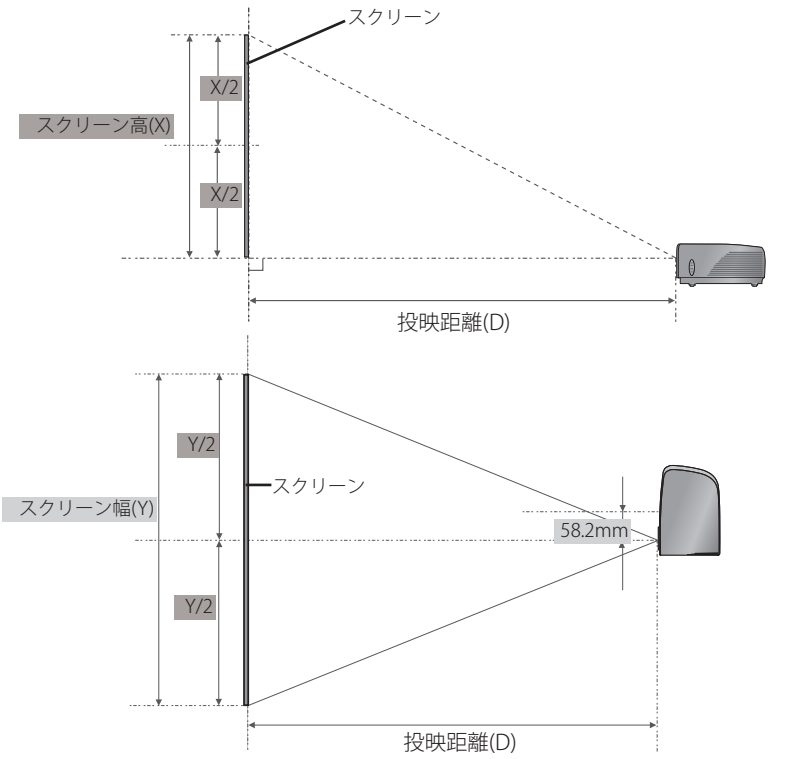
プロジェクタの通気孔や開口部を塞がないでください。過熱の原因となり、火災につながる恐れがあります。

プロジェクタは高精度な技術を使用して製造されています。しかし、非常に小さい黒い点や明るい点(赤、青、または緑) がプロジェクタスクリーン上に継続して表示される場合があります。これは、製造プロセスによる正常な結果であり、動作不良を示すものではありません。

プロジェクタの基本操作

1. コンピュータまたは映像機器とプロジェクタを、安定した水平な場所に置きます。
2. プロジェクタの映像ケーブルを映像機器に接続します。
3. スクリーンから必要に応じた距離をとって、プロジェクタを置きます。プロジェクタとスクリーンの間の距離によって、画像の実際のサイズが決まります。
4. レンズが正しい角度でスクリーンに向くように、プロジェクタを配置します。プロジェクタの角度が正しくないと、スクリーンの画像が歪みます。その場合は、台形補正を行います。(20 ページ参照)。

投映距離は画像形式によって変わります。



4 : 3 (縦横比)				
対角線サイズ (インチ)	対角線サイズ (mm)	水平サイズ (mm)	垂直サイズ (mm)	投映距離(D) (mm)
15	**381**	**305**	**229**	439
20	**508**	**406**	**305**	590
25	**635**	**508**	**381**	742
30	**762**	**610**	**457**	893
35	**889**	**711**	**533**	1046
40	**1016**	**813**	**610**	1200
45	**1143**	**914**	**686**	1349
50	**1270**	**1016**	**762**	1501
55	**1397**	**1118**	**838**	1652
60	**1524**	**1219**	**914**	1805
65	**1651**	**1321**	**991**	1957
70	**1778**	**1422**	**1067**	2108
75	**1905**	**1524**	**1143**	2260
80	**2032**	**1626**	**1219**	2411

三脚を使用してプロジェクタを設置する方法

* プロジェクタは、カメラ用の三脚を使用して設置できます。カメラの代わりに、プロジェクタを三脚に取り付けることができます。

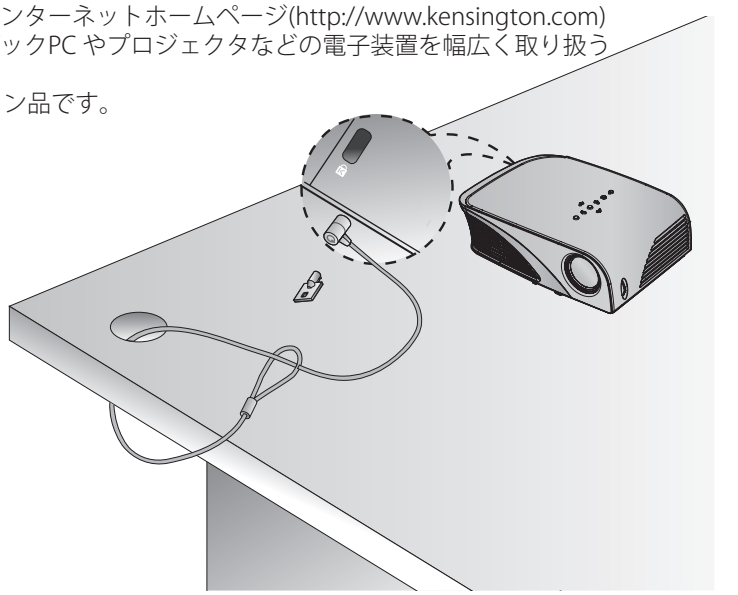
* 三脚を固定する場合は、標準サイズ (4.5mm) 以下のロッキングボルトを使用することをお勧めします。使用できるロッキングボルトのサイズは、6.5mm を限度とします(限度を超えるサイズのボルトを使用すると、プロジェクタに損傷を与える危険性があります)。

ケンジントンセキュリティシステムを使用する

● プロジェクタの背面パネルには、「ケンジントン」セキュリティシステムコネクタがあります。「ケンジントン」セキュリティシステムのケーブルを下図のように接続します。

● ケンジントンセキュリティシステムの設置と使用方法の詳細については、ケンジントンセキュリティシステム製品に付属のユーザーズガイドを参照してください。
その他の詳細については、ケンジントン社のインターネットホームページ(http://www.kensington.com)をご覧ください。ケンジントン社は、ノートブックPC やプロジェクタなどの電子装置を幅広く取り扱う会社です。

● ケンジントンセキュリティシステムはオプション品です。



プロジェクタの電源をオンにする

1. 本体のDC IN 端子とアダプタ、アダプタと電源コード、および電源プラグとコンセントを接続します。

2. コントロールパネルの **POWER**ボタン、または リモコンの **POWER**ボタンを押します(コントロールパネルのランプが点灯します)。

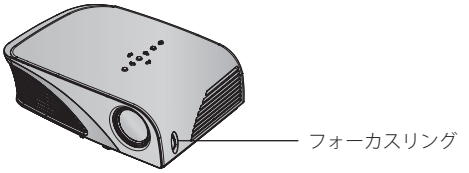
- リモコンの **INPUT**ボタンまたはコントロールパネルの **INPUT**ボタンを押して、希望する入力信号を選択します。
- リモコンの **POWER**ボタンまたはコントロールパネルの **POWER**ボタンを押してプロジェクタの電源を入れると、コントロールパネルのボタンがすべて点灯します。
- 付属のアダプタ、電源コードは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

プロジェクタの電源をオフにする

上部カバーの **POWER**ボタン、またはリモコンの **POWER**ボタンを押します。

スクリーン画像のフォーカスと位置を調整する

スクリーンに画像が表示されたら、画像のフォーカスが合っているか、スクリーンに画像が収まっているかを確認します。



- 画像のピントは、フォーカスリングを回転させて調整します。

入力を選択する

1. トップカバーの **INPUT**ボタンまたはリモコンの **INPUT**ボタンを押します。

2. **INPUT**ボタンで入力信号を選択して、プロジェクタに接続されている入力を変更します。
< / > ボタンでもすべての入力を変更することができます。

- コンポーネント入力は常に有効ですが、プラグアンドプレイ機能はサポートしていません。

接続

PC に接続する

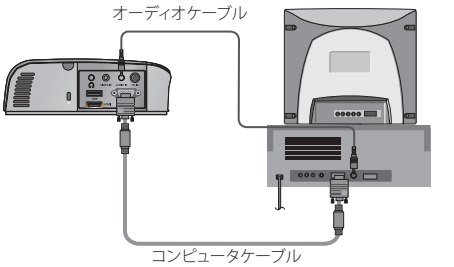
* プロジェクタは、VGA、SVGA、XGA、およびSXGA 出力のコンピュータに接続できます。
* プロジェクタでサポートされるモニタ表示については、39 ページを参照してください。

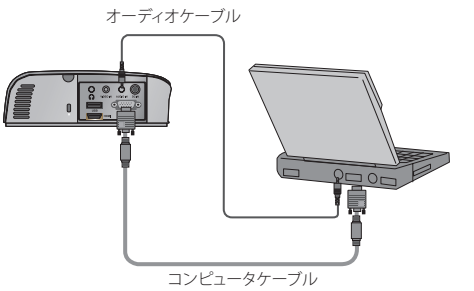
<接続方法>

1. コンピュータケーブルで、プロジェクタの **RGB IN** 端子とコンピュータの出力端子とを接続します。

2. オーディオケーブルで、プロジェクタの **AUDIO IN** 端子とコンピュータの音声出力端子とを接続します。

* コンピュータのディスプレイと外部プロジェクタの両方にコンピュータの信号が出力されるように設定すると、外部プロジェクタの画像が適切に表示されない場合があります。
その場合は、外部プロジェクタのみに信号が出力されるように、コンピュータの出力モードを設定してください。詳細については、コンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。





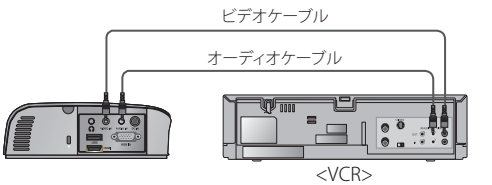
ビデオソースに接続する

* プロジェクタには、ビデオレコーダ、ビデオカメラ、またはその他の互換性のあるビデオ画像ソースを接続できます。

<接続方法>

1. ビデオケーブルで、プロジェクタの **VIDEO IN** 端子を映像ソースの出力端子に接続します。

2. オーディオケーブルで、プロジェクタの **AUDIO IN** 端子を音声ソースの出力端子に接続します。



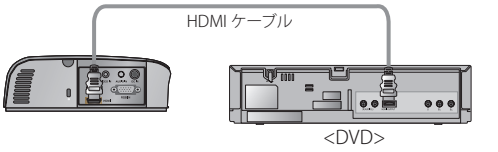
DVD 機器に接続する

* DVD 機器の出力ジャック(Y、PB、PR) には、機器によってはY、Pb、Pr/Y、B-Y、R-Y/Y、Cb、Cr のラベルが付いています。

< HDMI ソースの接続方法 >

1.HDMI ケーブルで、プロジェクタの **HDMI** 端子と DVD のHDMI 出力端子とを接続します。

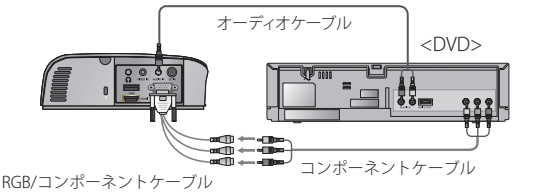
2.DVD の解像度を以下のいずれかに設定します :480p(576p)/720p/1080i/1080p モード。



< コンポーネントの接続方法 >

1.DVD のコンポーネント端子に RGB/コンポーネント変換ケーブルを接続してから、プロジェクタの **RGB IN** 端子に接続します。
 * コンポーネントケーブルを接続する場合は、端子の色とコンポーネントケーブルを合わせて接続しください (Y = 緑、PB = 青、PR = 赤)。

2.オーディオケーブルで、プロジェクタの **AUDIO IN** 端子をDVDの音声ソースの出力端子に接続します。



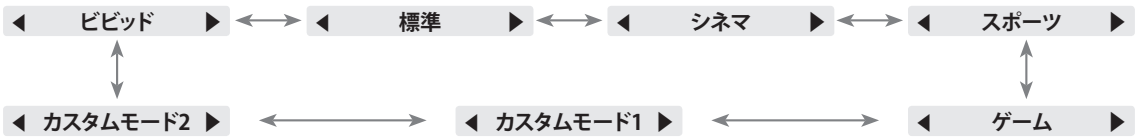
機能

* この操作ガイドでは、主にRGB モードの操作について説明します。

映像メニュー

投映モード

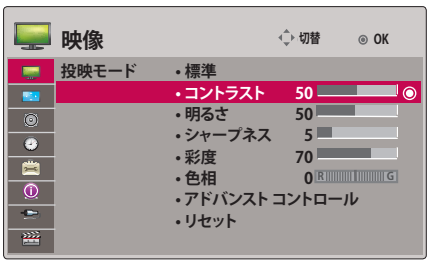
1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して、**投映モード**に移動します。
3. <、> ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。



● **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
● メニュー表示を終了するには、**RETURN** ボタンを押します。

投映モードの調整

1. **MENU** ボタンを押します。∧, ∨, <, > ボタンで**映像**に移動してから、◉ **OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して希望する機能に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. <または> ボタンを押して希望する調整を行ってから、◉**OK**ボタンを押します。



● 入力端子ごとの**投映モード**に合わせた異なる画像値を設定することができます。
● 調整後に保存すると、調整した**投映モード**で表示**(カスタム)**します(**カスタムモード1/2** を除く)。
● **投映モード**を**リセット**し、工場出荷時の設定に戻します。
● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

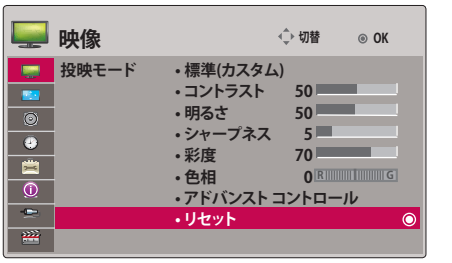
投映モードリセット機能

* 入力端子ごとの**投映モード**に合わせて選択した**映像**の設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**映像**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ボタンを押して**リセット**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。



アドバンストコントロール機能

1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**映像**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

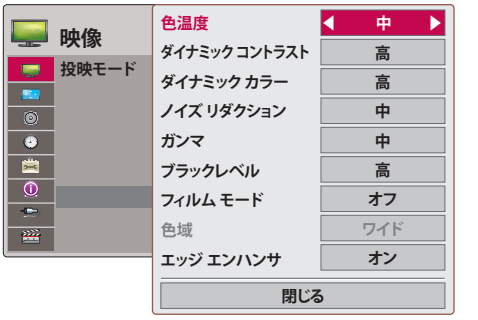
2. ∧または∨ ボタンを押して**アドバンスト コントロール**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンで希望する項目に移動します。

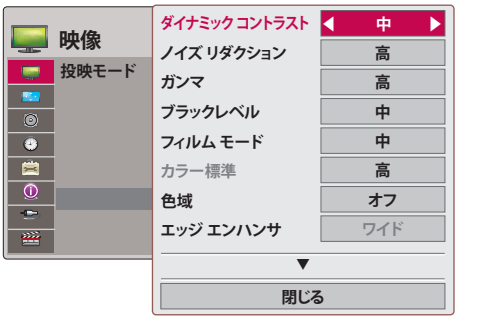
4. <または> ボタンを押して希望する調整を行ってから、◉**OK**ボタンを押します。

● 入力端子ごとの**投映モード**に合わせた異なる画像値を設定することができます。
● **投映モード**を**リセット**し、工場出荷時の設定に戻します。
● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

<**投映モード**が **ビビッド/標準/シネマ/スポーツ/ゲーム**の時>



<**投映モード**が**カスタムモード1/2** の時>

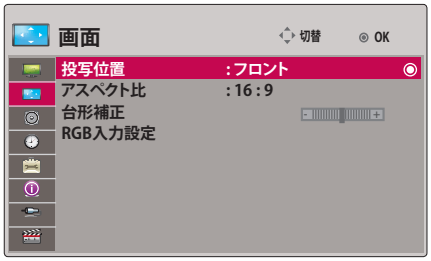


色温度	● 赤色などの温かい色を高めるには暖色に、画像を青みがかった色にするには寒色に設定してください。
ダイナミック コントラスト	● コントラストを調整して、画面の明るさに応じた最適なレベルのコントラストを保持します。 画像は、明るい部分をより明るく、暗い部分をより暗くすることで改良されます。
ダイナミック カラー	● 画面の色を調整することで、画面により躍動感を持たせ、色彩豊かに鮮明にします。この機能で色相、彩度、輝度を高め、赤、青、緑、白色をより鮮明に表現します。
ノイズ リダクション	● 画質を劣化させることなく画面のノイズを除去します。
ガンマ	**低**: 画像の暗い部分や中間灰色部分をより明るくします。 **中**: 本来の画像レベルを表現します。 **高**: 画像の暗い部分や中間灰色部分をより暗くします。 ● 画像の暗い部分や中間灰色部分の明るさを調整することができます。
ブラックレベル	**低**: 画面の映像が暗くなります。 **高**: 画面の映像が明るくなります。 **自動**: 画面の黒レベルを認識して、自動的に**高**または**低**に設定します。 ● 画面の黒レベルを適切なレベルで設定します。 ● この機能で、**RGB** モードを無効にします。
フィルム モード	● チラツキ効果を除去することで、映画に収録されたビデオクリップをより自然に見せます。 ● DVD やブルーレイの映画は 24 コマ/秒で撮影されています。
色域	**標準**: 標準色の色域を表示します。 **ワイド**: 表示する色彩豊かな色域を利用し設定するモードです。 ● 色を最大限に利用して、色品質を高めます。 ● アドバンス コントロール モードの、**色温度**の**高**でこの機能を有効にします。
エッジ エンハンサ	● 画面端を鮮明で明瞭に、それでいて自然に表現します。
カラー標準	● 異なる映像の色を HD 色に変換します。
ホワイト バランス	- **カスタムモード1/2**で使用する機能です。 ● 画面の色全体をお好みの色に調整することができます。 a. **方法** : **2 ポイント** - **パターン**: **内部、外部** - **赤/緑/青のコントラスト, 赤/緑/青の明るさ**: 調整範囲は、 **-50** ~ **+50** です。 b. **方法** : **20 ポイント IRE** - **パターン**: **内部、外部** - **IRE** (Institute of Radio Engineers) は、ビデオ信号の振幅を表す単位で、 **5**, **10**, **15** - **95**, **100**. の中から設定することができます。それぞれの設定に応じて **赤**, **緑**, **青**の調整を行うことができます。 - **赤/緑/Blue 青**: 調整範囲は、 **-50** ~ **+50** です。
カラー マネージメント システム	- **カスタムモード1/2**で使用する機能です。 ● テストパターンで調整を行うため、他の色に影響を与えることなく、6色の色域 (赤/緑/青/青緑/赤紫/黄) を選択して調整することができます。 一般の映像に対して調整を行っても、明確な色の違いが出ない場合があります。 赤/緑/青/黄/青緑/赤紫 を調整します。 - **赤/緑/青/イエロー/シアン/マゼンタのカラー**: 調整範囲は、 **-30** ~ **+30**です。 - **赤/緑/青/イエロー/シアン/マゼンタの色合い**: 調整範囲は、 **-30** ~ **+30**です。 - この機能でRGBモードを無効にします。

画面メニュー

投写位置の変更します

* 画像を逆さまにしたり、水平方向に反転させたりします。



1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**画面**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して**投写位置**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンで希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

● 別売の透過型スクリーンの背面から投射する場合は、**リア**を選択します。
● 天井に本機を設置する場合は、**天吊り** を選択します。
● **投写位置**が **リア**/**天吊り** の場合は、左右のスピーカーは自動的に切り替わります。
● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

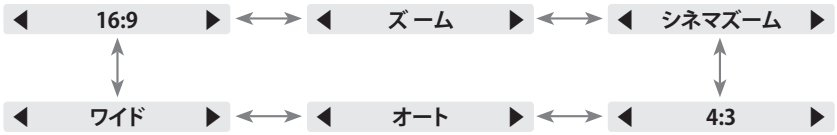
アスペクト比機能を使用します

* 最高画質でお楽しみいただくには、投映機能を利用してプロジェクタを設定します。

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して、 **アスペクト比** に移動します。

3. <、> ボタンを押して、希望する画面サイズを選択します。



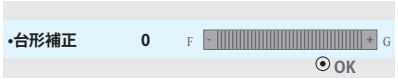
● 入力信号によっては、利用できない項目があります。
● **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
● メニュー表示を終了するには、**RETURN** ボタンを押します。

台形補正

* スクリーンとプロジェクタの角度が正しくないために画像が台形になっている場合は、この機能を使用します。
* 台形補正は、投映角度を最適に調整できない場合にのみ使用してください。

1. リモコンの**KEYSTONE +, -** ボタンを押します。

2. **KEYSTONE +, -** ボタンを押して、スクリーン状態を必要に応じて調整します。

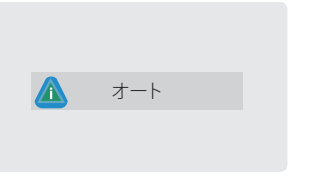


● **台形補正**は-40 ~ 40 に調整できます。
● **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
● メニュー表示を終了するには、**RETURN** ボタンを押します。

自動設定機能

* 画像の横サイズや同期を自動的に調整することで、最高画質をお楽しみいただくことができます。
* 自動トラッキング機能は、RGB PC入力時のみに動作します。

リモコンの **AUTO** ボタンを押します。



- PC グラフィック信号からの映像で画面の調節を行うと、最適状態が見つからないことがあります。静止画像には**オート**機能を実行します。
- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。

RGB入力設定

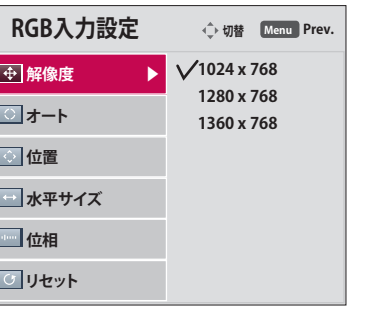
* RGB接続の調整で使用します 。

1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**画面**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して **RGB入力設定** に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧ または ∨ボタンで希望する項目に移動してから、>ボタンを押します。

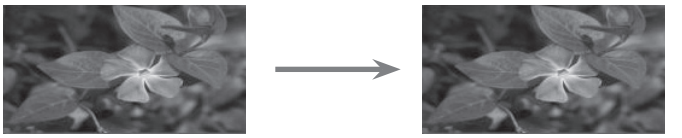
4. ∧, ∨, <, > ボタンを押してお好みの画面の状態に調整してから、OK ボタンを押します。



- **解像度**は、768 解像度 (1024x768/1280x768/1360x768、60Hz) と1050 解像度 (1400x1050/1680x1050、60Hz) のいずれかを選択することができます。
- 位相とは画面の色ずれやちらつきが出ている場合に調整を行います。
- メニュー表示を終了するには、**RETURN** ボタンを押します。

画像の一時停止

1. リモコンの **STILL** ボタンを押します。
   - 画像が一時停止されます。



<プレー画像>　　<停止画像>

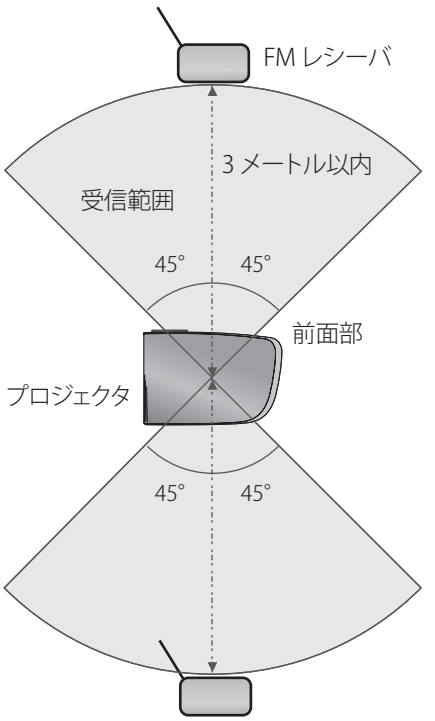
2. **STILL** またはいずれかのボタンを押すと、一時停止がキャンセルされます。
   - 一時停止は10分を経過すると自動的にキャンセルされます。

オーディオメニュー

FM ワイヤレスオーディオとは?

FM ワイヤレスオーディオとは、FM周波数 (76 ~ 90 MHz) を利用してプロジェクタから音声信号を発信する機能です。
FM レシーバから正常に音声を出力するには、プロジェクタと FM レシーバが同一の周波数でなければなりません。信号は、3 メートル範囲内にある FM レシーバで受信することができます。

<FM レシーバの推奨使用範囲>
下図のように障害物がない環境で、プロジェクタと FM レシーバを設置してください。
FMレシーバは、アンテナの長さと距離が 良ければ、5 mまで通信できます。



<推奨する FM アンテナの長さ>
0.8m 未満のロッドアンテナを使用すると雑音が発生する可能性があるため、より良い音質をお楽しみいただくためには 0.8 ～ 1.5mの長さのロッドアンテナのご使用をお勧めします。

設置ガイド

● 本製品は国内での使用を目的としています。

● 医療機関で使用すると、医療機器に障害が生じる恐れがあります。医療施設では使用しないでください。

● プロジェクタと FM レシーバとの距離は、3 メートル以内にしてください。

● 3 メートル以上の距離では、FM レシーバからの音声を希望する音質で聴く事ができない可能性があります。

● FM レシーバのアンテナの位置を調整して、電波受信の状態が良い場所に設置してください。

● 設置する場所と環境によっては、受信可能な距離は短くなり、以下の理由で音声が途切れる可能性があります。
- 障害物がプロジェクタと FM レシーバの近くにある場合。
- 障害物がプロジェクタと FM レシーバの近くを通る場合。
- FM レシーバがプロジェクタの左右、または対角線上に設置されている場合。
- プロジェクタまたは FM レシーバが、金属製のラックの中に設置されている場合。
- 近くで他の FM 送信機が、同じ周波数で動作している場合。
- 同じ周波数で流れているラジオ放送がある場合。
- ホコリが多く、高温多湿の環境で動作している場合。

FM 受信信号が悪い場合の対処方法

● FM レシーバのアンテナを調整するか FM レシーバの場所を移動してください。

● 音声信号がない場合や電波が悪い場合は、55 秒以内に自動的に FM ワイヤレスオーディオ機能は停止します。

● 受信する音声信号を確認してください。

● プロジェクタの電源または FM レシーバの電源が入っているかどうか確認してください。

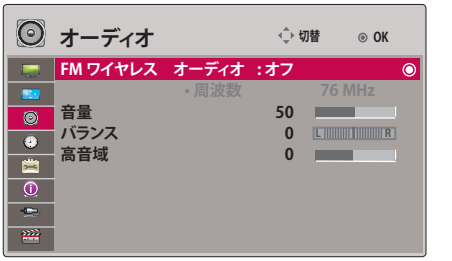
● プロジェクタと FM レシーバとの間に障害物がないか確認してください。

● 近くに金属製機器や電子製品がないか確認してください。

● 同じ周波数のラジオ放送チャンネルがないか確認してください。

● 同じ周波数のラジオ放送チャンネルがある場合は、プロジェクタの周波数を変更してください。

FM レシーバのスピーカから聞くには



1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**オーディオ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して**FM ワイヤレス　オーディオ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンを押して**オン**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

4. ∧または∨ ボタンを押して**周波数**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

5. <または> ボタンを押して周波数を調整してから、◉**OK** ボタンを押します。

6. FM レシーバの周波数を、あらかじめセットしたプロジェクタの周波数に設定します。

- **FM ワイヤレス　オーディオ**を**オン**に設定することで、 **ミュート/音量/バランス/ 高音域**機能を無効にします。
- FM レシーバの種類や設置場所によって、電波範囲や音質が違う場合があります。
- FM 周波数は、76 ~ 90 MHz に設定することができます。
- プロジェクタからの FM レシーバや音声信号を利用しない場合は、**オフ**を選択してください。
- 電源を入れ直すと、**オフ**の状態に変わります。
- **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

音量を調整する

リモコンの **VOLUME +, -** ボタンを押します。

- **FM ワイヤレス　オーディオ**が**オン**の場合は、機能しません。FM レシーバにて調整します。
- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。

スピーカーのバランスを調整する

* スピーカーの左右の音質を、お好みや部屋の状況に合わせて調整します。

1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**オーディオ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

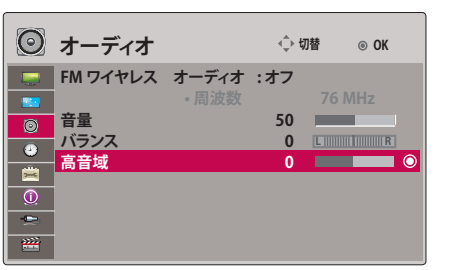
2. ∧または∨ ボタンを押して**バランス**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. <または>ボタンを押して音声のバランスを調整し、◉**OK**ボタンを押します。

   ● **FM ワイヤレス　オーディオ**が**オン**の場合は、機能しません。FM レシーバにて調整します。
   ● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

高音域を調整する

* 高音を、お好みや部屋の状況に合わせて調整します。



1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**オーディオ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して**高音域**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

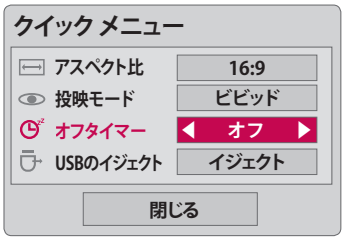
3. <または>ボタンを押して音声のトレブルを調整し、◉**OK** ボタンを押します。

   ● **FM ワイヤレス　オーディオ**が**オン**の場合は、機能しません。FM レシーバにて調整します。
   ● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

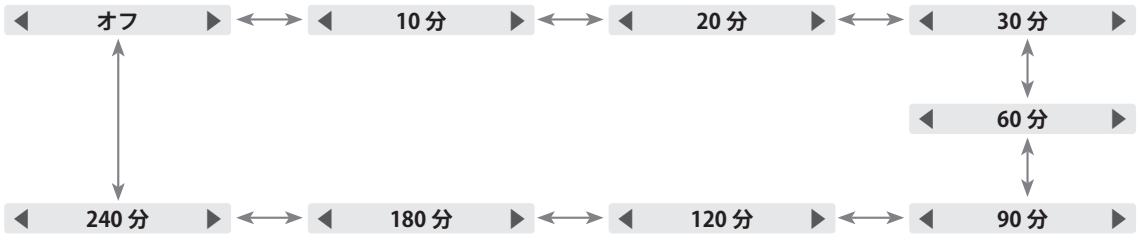
タイマー設定メニュー

オフタイマー機能

* 事前に設定した時間が経過すると、スリープタイマによりプロジェクタの電源がオフになります。



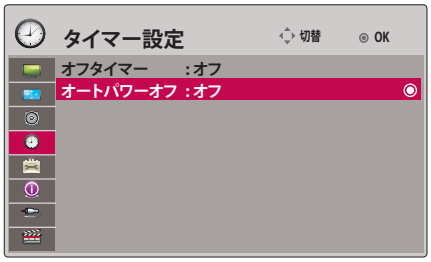
1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して、**オフタイマー**に移動します。
3. <、 > ボタンを押して、必要に応じたプリセット時間を選択します。



● **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
● メニュー表示を終了するには、**RETURN** ボタンを押します。

オートパワーオフ機能

* 信号のない状態が 10 分以上経過すると、プロジェクタの電源が自動的に切れます。

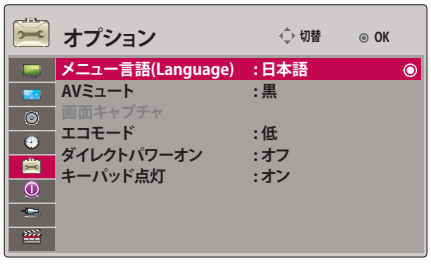


1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**タイマー設定**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して**オートパワーオフ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ∧または∨ ボタンを押して**オン**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

オプションメニュー

言語を選択する



1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して**メニュー言語(Language)**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ∧, ∨, <, > ボタンを押して、使用する言語を選択します。

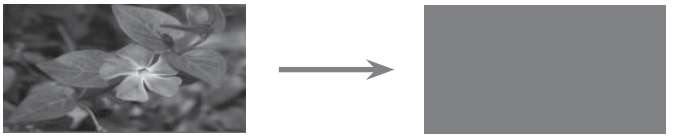
● 選択した言語で、オンスクリーンディスプレイ(OSD) が表示されます。
● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

AVミュート

* プレゼンテーション、ミーティング、打ち合わせ中などに相手の注意を引く必要がある場合は、この機能が効果的です。

1. リモコンの**BLANK** ボタンを押します。
   ● スクリーンの表示が消えて、背景画像に変わります。
   ● 背景画像は、ユーザーが選択できます。
   (「**AVミュートイメージを選択する**」を参照)

2. いずれかのボタンを押すと、非表示機能がキャンセルされます。
   ● 画像表示を一時的に中断するには、リモコンの**BLANK** ボタンを押します。使用中には、投映レンズを物で塞がないでください。レンズを塞いでいる物が過熱または変形したり、火災につながる恐れがあります。



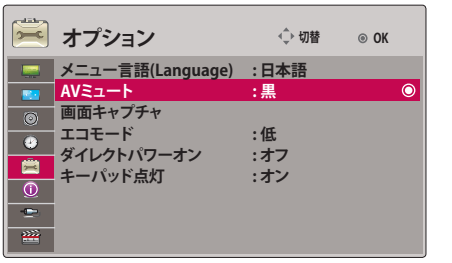
AVミュートイメージを選択する

1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して**AVミュート**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンで希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

   ● 選択したのがAVミュートの時に表示します。
   ● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

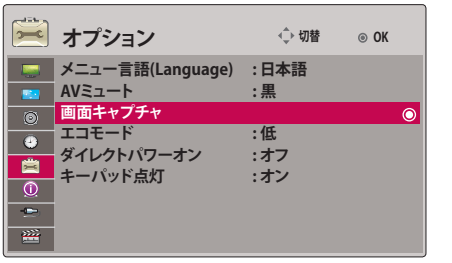


スクリーンキャプチャ機能

1. **MENU** ボタンを押します。∧, ∨, <, > ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

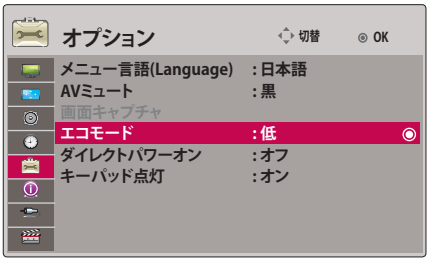
2. ∧または∨ ボタンを押して**画面キャプチャ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

   ● 入力信号がある場合にのみ選択することができます。
   ● 画面を取り込むのに 2 分ほどかかります。
   ● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。



エコモードの調整方法

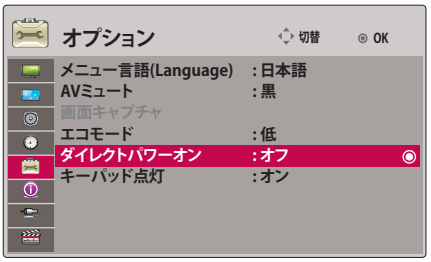
1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して**エコモード**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ∧または∨ ボタンで希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。



- エコモードは、特定の気温 (35° C 以上) で自動的に調光モードに切り替わります。
- 調光モードでは、元の エコモードの約 90% の明るさになります。
- **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

電源入力時に、プロジェクタの電源を自動的に入れる方法

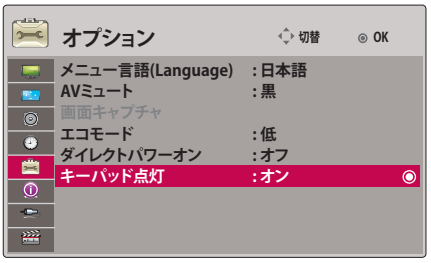
1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して**ダイレクトパワーオン**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ∧または∨ ボタンを押して**オン**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。



- **オン**: DC ケーブルをプロジェクタに接続すると、プロジェクタの電源が入ります。
  オフ: DC ケーブルをプロジェクタに接続すると、プロジェクタがスタンバイ状態になります。
- **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

キーパッドの設定方法

1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して**キーパッド点灯**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ∧または∨ ボタンを押して**オン**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。



- **オン**: キーパッドを押すと、電源が切れる前に 5 秒間点灯します。
  オフ: キーパッドのライトは点灯しません。
- **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

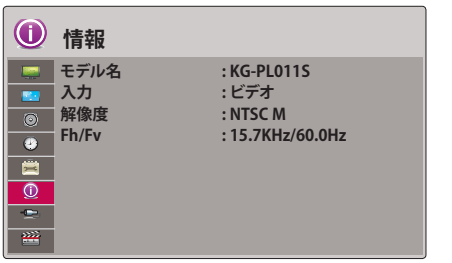
情報メニュー

プロジェクタの情報を確認する方法

1. **MENU** ボタンを押します。∧, ∨, <, > ボタンで**情報**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. プロジェクタの現在の情報をご覧になることができます。

   ● **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。



USB

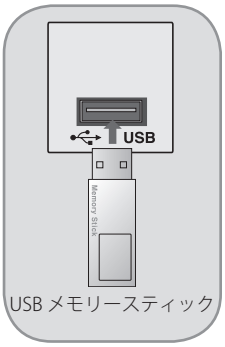
* 図に示す内容は、お使いのプロジェクタとは異なる場合があります。

USB 装置の使用

USB 装置を接続する

1. 製品の背面にあるUSB ジャックにUSB 装置を接続します。

2. 接続すると、USB ホームメニューが自動的に表示されます。



USB メモリースティック

USB を取り外す

* USB デバイスを取り外すには、**イジェクト**を選択します。

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して、**USBのイジェクト**に移動します。

3. ◉**OK** ボタンを押します。

- USB を取り外した後は、USB メモリーから読み込むことはできません。USB メモリーを取り外して、再度接続します。
- メニュー表示を終了するには、**RETURN** ボタンを押します。

USB デバイスの使用上の注意

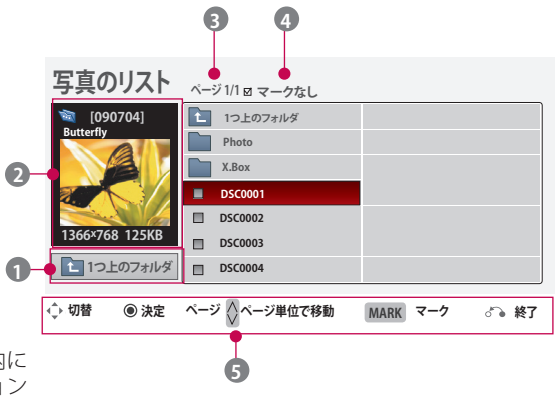
＊ ファイル順を名前順で並べるには、同一フォルダ内且つファイル名に数字を加えて桁数を合わせる必要があります。
（例）2 桁の場合 001～099
＊ USB ストレージデバイスのみを認識することができます。デジタルカメラや携帯電話はサポートされていません。
＊ USB ストレージデバイスが USB ハブから接続されている場合は、デバイスは認識されません。
＊ 自動認識機能を利用した USB ストレージデバイスは、認識されない可能性があります。
＊ USB ストレージデバイスが自身のドライバを使用する場合は、認識されない可能性があります。
＊ USB ストレージデバイスの認識速度は、デバイスによって異なります。
＊ 接続している USB ストレージデバイスの動作中に、プロジェクタの電源を切ったり USB デバイスを抜いたりしないでください。このようにデバイスを突然切ったり抜いたりすると、保存されているファイルや USB ストレージデバイスが破損する恐れがあります。
＊ パソコンで人工的に操作した USB ストレージデバイスを接続しないでください。そのようなデバイスが本機の故障や再生できない原因になる恐れがあります。正常な音楽ファイルや画像ファイルを保存した USB ストレージデバイスのみを使用することを忘れないでください。
＊ Windows OS で FAT16、FAT32、NTFS ファイルシステムにフォーマットされた USB ストレージデバイスのみを使用してください。ストレージデバイスが Windows でサポートされいない異なるユーティリティ機能としてフォーマットされている場合は、認識されない可能性があります。
＊ 外部電源を必要とする USB ストレージデバイスに電力を供給してください。電力供給されない場合には、デバイスは認識されない可能性があります。
＊ USB メーカーが提供するケーブルで USB ストレージデバイスを接続してください。USB メーカーが提供していないケーブルや長すぎるケーブルで接続すると、デバイスが認識されない可能性があります。
＊ USB ストレージデバイスには、サポートされない、またはスムーズに操作されないデバイスもあります。
＊ フォルダーやファイルの文字の種類によっては、表示または認識されません。
＊ USB ストレージデバイス内のストレージの順序によって、ファイルのアライメント方法が異なります。
＊ USB デバイスのデータが損傷する場合がありますので、重要なファイルはバックアップしてください。データの管理はユーザーの責任で行って下さい。メーカーはデータの破損が生じた製品について補償することはできません。
＊ フォルダーとファイルの数が 1,000 を超える場合は、1,000 を超えたフォルダーやファイルは表示または認識されません。
＊ 基本領域のみに対応します。拡張領域がある場合は、表示または認識されません。
＊ 推奨容量は、USB 外付けハードディスクで 1 TB 以下、USB メモリーで 32 GB 以下です。推奨容量を超えるデバイスは正常に動作しない可能性があります。
＊ USB ストレージデバイスのデータは、NTFS ファイルシステムで削除することはできません。
＊ USB メモリーが正常に動作しない場合は、一旦取り外し、再度接続し直してください。
＊ 「省エネ」機能付きの USB 外付けハードディスクが動作しない場合は、一旦ハードディスクをオフにし、再度オンにし直して正常に動作させてください。
＊ USB 2.0 以前の USB ストレージデバイスもサポートされますが、映画リストでは正常に動作しない可能性があります。

写真のリスト

* USB 装置に保存されている写真ファイル(*.jpg) を再生できます。
以下のオンスクリーンディスプレイは、お使いの製品とは異なる場合があります。図はあくまでも、プロジェクタ操作のための参考例として記載しています。

対応する写真ファイル: *.JPG
- JPG ファイルのみを再生することができます。
- JPG ファイルの中でもベースラインスキャンのみをサポートします。
- 本プロジェクタでは、プログレッシブ (順次走査) 方式で保存したほとんどの JPEG 画像をデコードすることはできません。
- 対応する画像のサイズは、最小 64 ピクセル (横) x 64 ピクセル (縦) から、最大 4,000 ピクセル (横) x 8,640 ピクセル (縦) までです。
- ＵＳＢメモリによっては、正確に画像を表示できない場合がございます。
- 対応しないファイルを、ビットマップ形式で表示する場合があります。

画面構成



1. 上層レベルのファイルに移動します。
2. プレビュー ：選択したフォルダー内の写真のサムネイル/フォルダー名を表示します。
3. 現在のページ/総ページ数
4. マークを付けた写真の総数
5. 対応するリモコンのボタン

- サムネイル内の「ドライブ（数字）」フォルダは、ストレージ内にパーティションを作成するごとに増えていきます。パーティションを作成していない場合は、必ず「ドライブ 1」から始まります。

写真選択およびポップアップメニュー

1. **USB** ボタンを押します。 <, > ボタンで**写真のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧, ∨, <, > ボタンを使用して、目的の写真を選択してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ∧または∨ボタンを押して希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
4. リピート再生をするには、リモコンの**MARK**を押します。リピート再生対象のファイルには、ファイルの横の□にレが付きます。

- **表示**: 選択した項目を表示します。
- **すべてをマーク**: 画面のすべての写真にマークを付けます。
- **削除**: 選択した写真項目を削除します。
- **閉じる**: ポップアップメニューを閉じます。

- 画像ファイルが損傷すると、正しく表示されない可能性があります。
- 高解像度の画像は、画面全体の表示時間が長くかかる場合があります。

フルスクリーンメニュー

1. **USB** ボタンを押します。 <, > ボタンで**写真のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧, ∨, <, > ボタンを使用して、目的の写真を選択してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ボタンを押して**表示**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

4. 選択した写真がフルサイズで表示され、メニューを表示します。

5. ∧, ∨, <, > ボタンで選択して、フルサイズ画面でメニュー画面をコントロールします。

- <または>ボタンで、前後の写真を選択します。
- **スライド ショー**: スライドショーの再生中に、選択した写真を表示します。何も写真を選択していない場合は、現在のフォルダー内のすべての写真をスライドショーの再生中に表示します。
  - **オプション**画面でスライドショーの時間間隔を設定します。
- **BGM**: フルサイズで写真を鑑賞中に、音楽を聴きます。
  - **オプション**画面で、BGM のデバイスとアルバムを設定します。
- **(回転)**: 写真を回転します。
- **削除**: 写真を削除します。
- **オプション**: **スライド速度**と**音楽フォルダー**の値を設定します。
  - BGM の再生中は、**音楽フォルダー**を変更できません。
- **非表示**: フルサイズ画面でのメニューの非表示を実行します。
  - フルサイズ画面でメニュー画面を再度ご覧になるには、◉**OK** ボタンを押して表示します。

音楽のリスト

* 音楽リストメニューを利用して、USB ストレージデバイスから MP3 ファイルを再生します。
お買い求めになられた機種により、オンスクリーンディスプレイが異なる場合があります。

対応する音楽ファイル: *.MP3
ビットレート範囲 8Kbps ~ 320Kbps
• サンプリングレート (サンプリング周波数) : MPEG1Layer 3 : 8KHz ~ 48KHz
• 曲の最大時間: 999.59 秒
• 本プロジェクタで 16 Kbytes 未満の音楽ファイルを再生することはできません。
本プロジェクタで不正コピー防止されているファイルを再生することはできません。

画面構成

1. 上層レベルのファイルに移動します。
2. プレビュー ：選択したフォルダー内の音楽のタイトル/フォルダー名を表示します。
3. 現在のページ/総ページ数
4. マークを付けた音楽の総数
5. 対応するリモコンのボタン
6. リピート再生をするには、リモコンのMARKを押します。リピート再生対象のファイルには、ファイルの横の□にレが付きます。

曲の選択およびポップアップメニュー

1. **USB** ボタンを押します。<, > ボタンで**音楽のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧, ∨, <, > ボタンを使用して、目的の音楽を選択してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ボタンを押して希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

● **再生**: 曲の再生が終わると、次に選択されている曲を再生します。再生する曲が何も選択されていない場合は、現在のフォルダー内の次の曲を再生します。違うフォルダーへ進み ◉**OK** ボタンを押すと、現在再生中の曲は停止します。
曲の再生中には、曲の再生時間の前に ♪ が表示されます。
一定時間が経過した後は、全曲リスト画面が消え、音楽リストの上にある再生情報の画面がスクリーンセーバーとして表示されます。◉**OK**、■ または **RETURN** ボタンを押して、スクリーンセーバーを停止します。
損傷または破損して再生できない音楽ファイルは、再生時間を 00:00 と表示します。
不正コピー防止されている音楽ファイルは再生されません。
● **写真付きで再生**: 選択した音楽の再生を開始してから、写真リストへ移動します。
● **すべてをマーク**: フォルダー内のすべての曲にマークを付けます。
● **削除**: 選択した曲を削除します。
● **閉じる**: ポップアップメニューを閉じます。

動画のリスト

* USB 装置が検出されると、ムービーリストが有効になります。ムービーリストは、プロジェクタでのムービーファイルの再生に使用します。

対応する動画ファイル

拡張子名	ビデオコーデック	最大解像度に対応	フレーム	オーディオコーデック	説明
AVI m4v Divx	MPEG4	720X480 800X432	30P	AC3 • Bit rate range 32Kbps ~ 640Kbps • Sampling rate 32KHz, 44.1KHz, 48KHz MPEG • Bit rate range 32Kbps ~ 448Kbps • Sampling rate 32KHz ~ 48KHz LPCM MP3 • Bit rate range 32Kbps ~ 320Kbps • Sampling rate 32KHz ~ 48KHz	Microsoft MPEG4 is not supported. WMV series are not supported. Playing a video only support the Playback.
	DivX 3.XX DivX 4.XX DivX 5.XX DivX 6.XX				
	Xvid 1.00 Xvid 1.01 Xvid 1.02 Xvid 1.03 Xvid 1.10 Beta1/2				
DAT MPG MPEG MPE VOB	MPEG1				
	MPEG2				

字幕形式 : *.ass/ *.smi/ *.srt/ *.ssa

● 特殊なコーディング過程によっては、再生できない場合があります。

DivX の再生についての注意

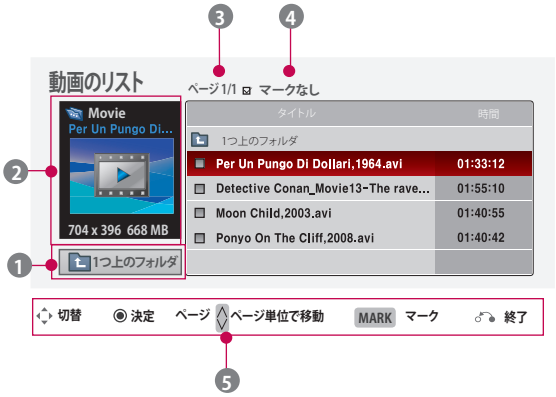
＊ DivX 映画ファイルとその字幕ファイルの場所は、同じフォルダー内にある必要があります。
また、DivX を表示するには、動画のファイル名と字幕ファイルの名は同一の名前でなければなりません。
＊ ユーザーが作成した特定の字幕は正常に動作しない可能性があります。
＊ 特殊な文字の中には、字幕に表示できないものがあります。
＊ HTML タグは字幕に表示できません。
＊ 対応言語以外の言語での字幕は表示できません。
＊ 外部の字幕ファイル内の時間の情報は、再生される順に配置される必要があります。
＊ 損傷した動画ファイルは再生できない可能性があり、特定の機能は再生中に制限される可能性があります。
＊ エンコーダーで作成された特定のビデオファイルは、再生できない場合があります。
＊ 記録されたファイルの映像や音声の構造が交互に格納されていない場合は、映像または音声のどちらかが出力されます。
＊ 各フレームに対応する最大解像度を超える解像度の映像を、スムーズに再生する保証はできません。
＊ DTS オーディオのコーディングはサポートされません。
＊ 4 GB (ギガバイト) を超える映画ファイルの再生はサポートされません。
＊ 高速をサポートしない USB 接続からの映像の再生は、正常に動作しない可能性があります。
＊ **動画のリスト**を利用して映像をご覧になる場合は、画面を調整する機能は動作しません。

● 公式のDivX® 認定製品。
● 「全バージョンのDivX® ビデオ(DivX® 6を含む) の再生、およびDivX® メディアファイルの標準再生が可能」
● DivX® 認定製品：「DivX、DivX Certified、および関連するロゴはDivX, Inc. の商標です。」

DOLBY DIGITAL

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

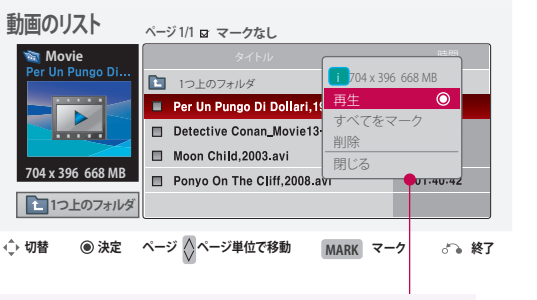
画面構成



1. 上層レベルのファイルに移動します。
2. プレビュー：選択したフォルダー内の動画のタイトル/フォルダー名を表示します。
3. 現在のページ/総ページ数
4. マークを付けた動画の総数
5. 対応するリモコンのボタン
6. リピート再生をするには、リモコンのMARKを押します。リピート再生対象のファイルには、ファイルの横の□にレが付きます。

動画の選択およびポップアップメニュー

1. **USB** ボタンを押します。<, > ボタンで**動画のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧, ∨, <, > ボタンを使用して、目的の動画を選択してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ∧または∨ボタンを押して希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。



● **再生**: 選択した動画名を再生します。
- サポートされないファイルの場合は、非対応ファイルについてのメッセージが表示されます。

- 画面は再生されますが、音声ファイルがサポートされない場合は、以下のメッセージが表示されます。

● **すべてをマーク**: フォルダー内のすべての動画にマークを付けます。
● **削除**: 選択した動画を削除します。
● **閉じる**: ポップアップメニューを閉じます。

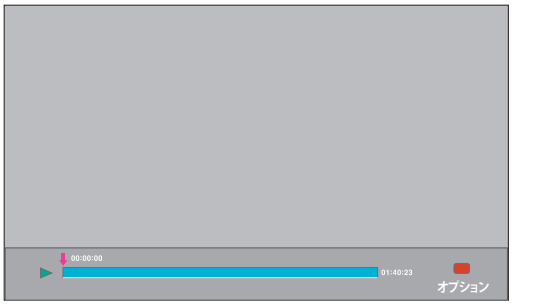
動画を再生する

* 動画の再生中に、さまざまな方法で操作することができます。

1. **USB** ボタンを押します。<, > ボタンで**動画のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧, ∨, <, > ボタンを使用して、目的の動画を選択してから、◉**OK** ボタンを押します。

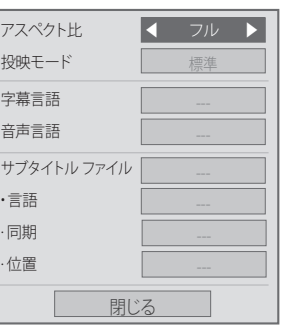
3. ∧または∨ボタンを押して**再生**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。



■ リモコンの使用
- ◀◀ **(REW)** ボタンを押して巻き戻します。
- ▶▶ **(FF)** ボタンを押して早送りします。
- **II (Pause)** ボタンを押して画面を一時停止します。
- ■ **(Stop)** ボタンを押して停止します。
- I◀◀ **(Skip -)** ボタンを押して、前の動画を再生します。
- ▶▶I **(Skip +)** ボタンを押して、次の動画を再生します。

オプションメニューの選択

動画のリストの再生モードで
リモコンの (赤) ボタンを押します。



- **アスペクト比**: **フル**または**オリジナル**の画面サイズを選択します。
- **投映モード**: **ビビッド**、**標準**、**シネマ**、**スポーツ**または**ゲーム**を選択します。
- **字幕言語** & **音声言語**: 映画の再生中に、音声/字幕の言語グループを選択します。
  ※字幕言語については、正式なサポートをしておりません。 場合によっては、正しい表現ができない可能性がございます。
- **サブタイトル ファイル**: 字幕のオンとオフを切り替えます。
  - **言語**: 2言語以上の字幕ある場合は、その中から1言語を選択することができます。
  - **同期**: 映像とキャプションが同期していない場合、0.5 秒単位で調整することができます。
  - **位置**: 字幕の位置を移動します。

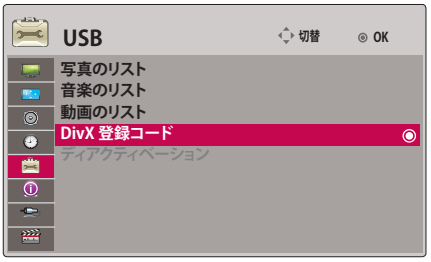
DivX 登録コードをご覧になるには

* プロジェクタの DivX 登録コード番号を確認します。
登録番号を利用して、http://www.divx.com/vod で映画をレンタルしたり購入したりすることができます。

1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで **USB** に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して**DivX 登録コード**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. プロジェクタの DivX 登録コードをご覧になることができます。



- 他のプロジェクタの DivX 登録コードで、レンタルまたは購入した DivX ファイルを再生することはできません。(お買い求めになられたプロジェクタの登録コードに一致する DivX ファイルのみを再生することができます。)
- DivX の標準コーディング以外の標準コーディングを基にして変換した映像または音声のファイルは、破損する可能性や再生できない可能性があります。
- **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

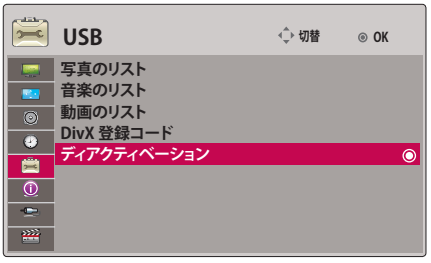
ディアクティベーション機能

* 既存の認証情報を削除して、プロジェクタの新規 DivX ユーザー認証を取得します。この機能を実行すると、DivX DRM ファイルを鑑賞する際に、改めて DivX ユーザー認証が必要になります。

1. **MENU** ボタンを押します。 ∧, ∨, <, > ボタンで **USB** に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ ボタンを押して**ディアクティベーション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. <または>ボタンを押して希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。



- DRM (Digital Rights Management ： デジタル著作権管理) 機能 ：
これらは、デジタル コンテンツの不正使用を防止して、著作権保有者の利益と権利を保護するための技術とサービスです。インターネットなどの方法でライセンスが解除された後に、ファイルを再生することができます。
- **MENU** または **RETURN** ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

サポートされるモニタ表示

* プロジェクタでサポートされる表示形式を下表に示します。

形式	垂直周波数(Hz)	水平周波数(kHz)
640X350	**70.090**	**31.468**
720X400	**70.080**	**31.469**
640X480	**59.940**	**31.469**
640X480	**72.800**	**378 61**
640X480	**75.000**	**37.500**
800X600	**56.250**	**35.156**
800X600	**60.310**	**37.879**
800X600	**72.180**	**48.077**
800X600	**75.000**	**46.875**
1024X768	**60.000**	**48.363**
1024X768	**70.060**	**56.476**
1024X768	**75.020**	**60.023**
1152X864	**60.053**	**54.348**
1280X768	59.870	47.776
1360X768	60.015	47.712
1280X960	60.000	60.000
1280X1024	60.020	63.981
1400X1050	59.979	66.317
1680X1050	60.000	65.300

* 入力信号がプロジェクタでサポートされない場合は、スクリーンに「範囲外」のメッセージが表示されます。
* 本プロジェクタは、DDC1/2B タイプのプラグアンドプレイ機能をサポートしています(PC の自動認識)。
* 対応する PC 同期信号タイプ ： セパレートシンク タイプ。

<DVD/DTV 入力>

信号		コンポーネント-*1	HDMI-*2
NTSC(60Hz)	480i	O	X
	480p	O	O
	720p	O	O
	1080i	O	O
	1080p	O	O
PAL(50Hz)	576i	O	X
	576p	O	O
	720p	O	O
	1080i	O	O
	1080p	O	O
24 / 30 Hz	1080p	O	O

* ケーブルタイプ
1- RGB/コンポーネントケーブル
2- HDMI ケーブル

メンテナンス

* プロジェクタには定期点検がほとんど必要ありません。ごみや汚れがあるとスクリーンに映り込むので、レンズは常に清潔にする必要があります。部品の交換が必要な場合は、販売店にご連絡ください。プロジェクタの部品をクリーニングするときには、必ず最初にプロジェクタの電源をオフにして、電源プラグを抜いてください。

レンズをクリーニングする

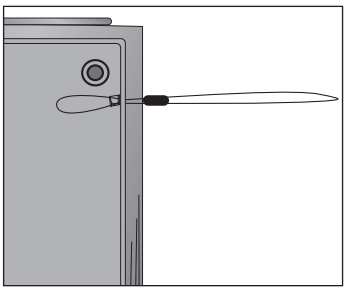
レンズの表面にホコリや染みが付いている時は、レンズのお手入れを行ってください。本機の外装部分には、本機に付属しているエアスプレーと布を使用して軽く拭いてください。推奨のエアスプレーやレンズ洗浄剤を使用してください。レンズのお手入れには、少量の洗浄剤を綿棒または柔らかい布に含ませて拭いてください。本機のレンズ部分に直接吹き付けると、液体がレンズ部分から内部に流れ込む恐れがありますのでご注意ください。

プロジェクタ本体をクリーニングする

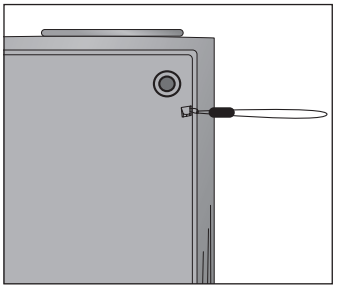
プロジェクタ本体をクリーニングする場合は、最初に電源ケーブルを抜いてください。ごみやほこりを取り除くには、付属のポリッシングクロスで外装を拭きます。レンズのごみや汚れを取り除く場合は、外装用のクロス(製品付属) を使用します。
外装が変形または変色する恐れがあるので、アルコール、ベンジン、シンナー、およびその他の化学洗剤は使用しないでください。

レンズキャップをプロジェクタに取り付ける方法

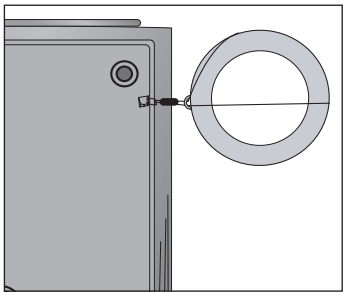
1 アクセサリとして付属しているレンズキャップとストラップを用意します。



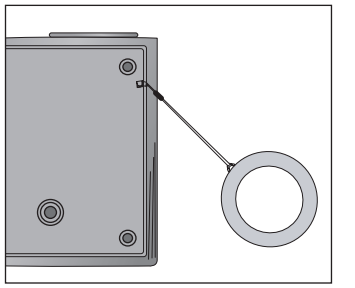
2 ストラップの結び目のない方の先端をプロジェクタのレンズ下の部分にある穴に挿入します。



3 プロジェクタの穴にあるストラップをレンズキャップの穴の中に挿入してから、レンズキャップをストラップの輪になっている部分に通します。



4 下図のように完全に取り付けられます。



メモ

メモ

仕様

モデル	KG-PL011S	
解像度	800(横) x 600(縦)ピクセル	
アスペクト比	4:3(横:縦)	
パネルサイズ	0.55 インチ	
スクリーンサイズ (投映距離)	0.44 ~ 2.41m(15 ~ 80 インチ)	
投写オフセット	100%	
リモコン距離	6m	
ビデオ互換性	NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL-60	
電源	19V ⎓, 4.74A	
AC-DC アダプタ	LG, PA-1900-08	
音声出力	1W + 1W	
高さ(mm)	60 ~ 63	
幅(mm)	183	
長さ(mm)	122	
重量(g)	800	
USB デバイス	5V, 0.5A (最大)	
動作条件	温度	動作時:0°C~40°C 保管/輸送時：-20°C~60°C
	湿度	動作時:0~80% (乾式湿度計による相対湿度) 非動作時：0~85% (乾式湿度計による相対湿度)
FM トランスミッター仕様	周波数帯 ：76 ~ 90 MHz チャンネル間隔 ：100KHz 送信電力 ：50nW 以下	

P/NO : MFL62345713 (0910-REV01)